

## 審 議 資 料

項目：生態系（生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑）

担当：興水委員

## 意 見

**【生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑 共通】**

- 1 緑化計画の具体化に当たっては、「植栽時における在来種選定ガイドライン」や計画地内にて確認された種等を参考に、また、計画地の周囲に今後整備される有明親水海浜公園（仮称）と整合を図るなど、計画地に適した植栽基盤の整備及び緑化を行うこと。

**【緑】**

- 2 江東区みどりの条例に基づく緑化基準のほか、東京都再開発等促進区を定める地区計画の運用基準で示された基準についても明記するとともに、緑が持つ機能についても説明すること。また、緑化計画図については、地上部緑化、建築物上緑化及び接道部緑化をそれぞれわかりやすく示すこと。

## 審 議 資 料

項目：アメニティ・文化（景観、自然との触れ合い活動の場、歩行者空間の快適性）  
担当：平手委員、輿水委員

## 意 見

## 【景観】

- 1 形態を工夫し素材感のある外壁とすることで、周辺環境との調和を図るほか、圧迫感の低減に配慮した計画としていることから、この外壁について具体的に記述し、わかりやすく説明すること。  
また、計画地は、臨海景観基本軸及び水辺景観形成特別地区に指定されていることから、色彩計画についてもわかりやすく説明すること。

## 【自然との触れ合い活動の場】

- 2 水辺と一体となった親水空間や交流広場、周辺住環境に配慮した広がりのある緑地を形成し、計画地内に新たな自然との触れ合い活動の場が創出されるとしていることから、この新たな自然との触れ合い活動の場の機能についてわかりやすく説明すること。

## 【自然との触れ合い活動の場】

- 3 建設予定の有明親水海浜公園（仮称）へつながる歩行者通路を整備する計画としていることについて、事業者等と十分に連携を図るなど、自然との触れ合い活動がより一層充実するよう努めること。

## 【歩行者空間の快適性】

- 4 暑さ対策について可能な限りの配慮を行う計画としていることから、アクセス経路として予測している整備中の区画道路及び建設予定の有明親水海浜公園（仮称）の事業者等と十分に連携を図り、緑陰を確保するなど、より一層の暑さ対策に努めること。

## 審 議 資 料

項目：資源・廃棄物（水利用、廃棄物、エコマテリアル）

担当：谷川委員

## 意 見

## 【水利用】

- 1 トイレ洗浄水等の雑用水に雨水利用や循環利用水（中水）利用を計画しているが、一部、上水が使用されていることから、更なる雨水等の利用を推進するよう努めること。

## 【廃棄物】

- 2 建設工事に伴い生じる廃棄物の予測において、再資源化率を「東京都建設リサイクル推進計画」の目標値と設定しているが、当該計画は平成 28 年 4 月に改定が行われたことから、実際の工事に当たっては、新しい計画の目標値を達成するよう努めること。

## 【廃棄物】

- 3 設備等の持続的稼働における廃棄物について、再資源化率を類似施設の実績から 32%と予測し、評価の指標である「江東区一般廃棄物処理基本計画」における目標値 27.3%を満足するとしているが、当該施設はオリンピック・パラリンピックレガシーとなる施設であることから、より高い再資源化率を達成するよう努めること。

## 【エコマテリアル】

- 4 建設工事において、エコマテリアルの積極的な利用に努めるとともに、使用状況について確認すること。

## 審 議 資 料

項目：土地利用（土地利用）

担当：興水委員

### 意 見

#### 【土地利用】

オリンピック・パラリンピック会場として、未利用地にスポーツ施設が建設されることから、整備予定の有明親水海浜公園（仮称）と連携した土地利用を図っていくこと。